

テスト設計コンテスト'14

アピールシート

※ 全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

東京

チーム ID

S130726001

チーム名

らくてす

チーム紹介

株式会社NTTデータ 技術開発本部 プロアクティブ・テストイング COE のメンバーで構成したチームです。私たちは業務としてNTTデータグループ全体向けのテストプロセスの策定や、テスト技術(プロセス自体やそれを実装したツール)の普及展開を行っております。しかし、実際のところ仕様書/設計書ベースのテスト詳細設計技術のみをスコープとしてしまっているのが現状です。テスト要求分析やテストアーキテクチャについてもじっくり考えて手を動かすいい機会であると考え、今回テスト設計コンテストに組織としてエントリーしました。

コンセプト

私たちの方法論のコンセプト/作業をするうえで心がけた点は以下4点です。

1. 品質特性に基づいてテスト設計を行う。
2. 与えられた仕様書に明記されていないことも可能な限りテストする。
3. 成果物間のトレーサビリティをとる
4. シンプルなテスト設計プロセスを心がける。

工夫点

前述のコンセプトを満たすために、具体的に以下のような工夫を行いました。

[1. 品質特性に基づいてテスト設計を行う。]

「JIS X 25010 システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価(SQuaRE)ーシステム及びソフトウェア品質モデル」で定義された品質特性を基にテスト目的、テスト要求を整理しました。これにより、網羅的にテスト目的、テスト要求を洗い出すことができました。

[2. 与えられた仕様書に明記されていないことも可能な限りテストする。]

テストベースに記載されていることだけでなく、ステークホルダの利用シーンの想定や、テスト実施の視点での仕様書の再整理によってテスト観点を抽出しました。これにより、暗黙的な仕様に対するテスト設計も可能でした。

[3. 成果物間のトレーサビリティをとる。]

作業プロセスの流れを定義し、また成果物名のIDによりプロセス間の対応関係を明示することで、仕様からテスト要求、テストケースがすべて対応づけられるようにしました。これにより、仕様に対するテスト漏れの防止や、テストケースの抽出根拠の明確化を実現できました。

[4. シンプルなテスト設計プロセスを心がける。]

全体タスクフローや各タスクの詳細な作業フローはすべて直列のフローで示すなど、極力シンプルなプロセスでテスト設計を行いました。これにより、第三者にも理解しやすい形で作業手順を示すことができました。